

令和5年度 第5次王滝村総合計画 プロジェクト評価シート

No.	4	プロジェクト名	公共交通プロジェクト	部会	くらし
-----	---	---------	------------	----	-----

具体的目標値	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	目標(R5)	実績(R5)	主な事業費(千円)	科目	予算額	決算額	特記事項
	公共交通利用者数(人)	1,200	1,200	1019		燃料費	428	482	人件費は集落支援員事業費
	観光2次アクセス利用者数(人)	2,600	1500	610		委託料	3,659	3,627	

【活動計画(Plan)】

目的課題	(1)幹線移動手段の見直しによる移動手段の利便性向上 (2)効率的な交通システム構築と物流イノベーション (3)観光路線バス事業の見直しによる2次アクセスの確保 (4)輸送事業従事者の確保
活動計画	(1)村内巡回バスの効率的な運行及び利便性向上の検討 (2)ドローンによる物流の情報収集 (3)観光路線定期バスの運行

関連するゴール	
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを	16 平和と公正をすべての人に
17 パートナースhipで目標を達成しよう	

【実施(Do)】

実施内容	(1)村内巡回バスについては、利用できる対象者の範囲を拡充し、王滝村に別荘や家を所有している人達までとした。幹線バスの移動手段についての見直しは出来なかった。 (2)物流については、ドローンによる実証実験を行うことができた。 (3)御嶽山頂上から剣ヶ峰までの規制が解除されたため、田の原までの観光路線バスの運行も再開した。
------	---

【評価・分析(Check)】

進捗状況		KPI評価			評価の理由
該当に○		ランク	評価	B	・巡回バスの利用者については概ね目標値に近い水準を維持している。 ・観光バスの運行も再開したが、利用者については、目標値へはまだまだ至っていない。
	順調	A	予定通りの進捗		
○	概ね順調	B	概ね予定通り		
	やや遅れ	C	改善等検討		
	遅れ	D	改善等実施		

【見直し等(Action)】

見直し状況等	今後の改善内容等
該当に○	・巡回バスの利便性向上にむけてはまだまだ検討が必要。 ・ドローンによる実証実験は、今後も継続しつつ、活用に向けた取組等が必要。 ・観光路線バスについては、今後、継続して運行できるよう検討が必要。
○	